

第 35 回日本パラ水泳選手権大会参加上の注意事項

1 競技規則と競技方法

- 1) 本大会は、世界パラ水泳連盟（WPS）競技規則を基にした競技運営指針「競泳競技規則」と本大会要綱に基づいて行う。
- 2) 競技方法は、リレーは予選を実施、個人種目はタイムレース決勝とし、複数のクラスが同時に行われた記録の処理はクラス毎とする。各種目（リレーの場合はチーム）の優勝者に金メダルが授与される。2位には銀メダル、3位には銅メダルが授与される。ただし、参加申込者が2名（チーム）までの種目は1位のみ、3名（チーム）の種目は2位までにメダルを授与する。表彰状は授与せず、記録証を全員に授与する。リレー優勝チームには優勝カップなどを授与する。（取りきり、2位、3位はなし、個人メダルのみ）
- 3) リレー種目の決勝進出は、同記録で予定チーム数を超えた場合、スイムオフを行う。該当するチームはスイムオフに参加するかどうか、その種目結果の公式掲示時刻から15分以内に本部へ報告すること。補欠が同記録で複数いる場合は抽選を行う。
- 4) 大会では、当連盟競技者資格規程が適用されるので、スポーツマンシップに注意すること。
 - *水着、広告規制、ミサンガ、イヤリングなど招集所でチェックされるので、その旨心得ること。
 - *テーピング・サポーターも原則禁止されている。絆創膏などもテーピングとみなされ、審判長の指定した役員の許可が必要。（該当レースの1時間前までに招集所で申し出ること）
 - *障がい上、医療用具（ストーマ、カテーテル等）を装着して泳ぐ場合は、テーピングと同じく審判長の指定した役員の許可が必要。
- 5) 水着の取り扱いについては、WPS規則、FINA規則による。障がい上など着用の問題がある場合は申し出ることによって例外的に認めることがある。また、記録の公認については、内容によってその都度判断をする。（該当レースの1時間前までに本部に申し出ること）
- 6) 本大会では上訴は大会総務で行い、上訴審判団を設置しない。

2 スタートについて

スタートは1回のみとし、やり直しは行わない。他の選手がフォルススタートした場合も出発合図員の号砲によってスタートすること。スタート合図は、英語（「Take your marks」）で行う。

※スタートの方法

審判長の短い笛の合図で準備し、長い笛の合図でスタート台に上がり、「Take your marks」の合図を待つ。背泳ぎ以外で水中スタートする場合は短い笛の合図で、直ちに自レーンもしくは近い方のプールサイドから入水し、自レーン内に移動する。飛び込みスタートの時は「Take your marks」の合図の前にスタート台の前縁に足の指をかけて、号砲を待っても構わない。ただし、同じ組で水中スタートと飛び込みスタートの選手がいる場合は、短い笛と長い笛の間が空くので、飛び込みスタートの選手はリラックスして待つこと。（競技の進行上、水中スタートする選手でプールサイドから入水する選手は個々人の選手紹介が終わり次第プールサイドに移動し入水、準備をすること）

3 競技順

競技は、女子・男子の順に大会プログラムの順序で行う。シニア(50才以上の部)、一般についてはシニア種目を先に行う。

4 招集

招集は、指定された招集場所において、競技開始時間の30分前より開始し、15分前に終了する。招集時間に遅れた者は棄権とみなすので、各自スタートリスト等で自分の招集開始時間を確認すること。また、競技の進行に注意すること。（競技進行が20分以上早くなった場合は、場内放送を入れる）

なお、当日競技を棄権することになった場合は、競技開始1時間前までに招集へ申し出ること。

5 競技エリア内入場許可、介助申請

本大会では、競技エリアにコーチや介助者が入る場合、コードオブエクセプションの「T」、「A」、「Y」の記載のある選手については申請不要である。「T」、「A」、「Y」の記載のない選手については「エリア入場許可申請」、「介助申請」を行い、許可を受けなければならない。レース1時間前までに、理由を記載したエリア入場許可申請書を招集へ提出すること。内容によっては認められないことがある。また、入退水、タッピングなどの介助を大会本部に依頼する場合も、該当レース1時間前までに招集へ介助申請が必要である。申請書は、受付で配布する。申請書は（一社）日本身体障がい者水泳連盟ホームページからもダウンロードできる。（<http://new.paraswim.jp/>）

なお、大会本部に介助を依頼する場合、介助の内容を介助者に詳細に伝えて打ち合わせを行い、怪我など問題が起こらないように努めること。

6 競技時間

競技時間は、進行により変更する場合があるので、各自進行状況に注意すること。（進行が30分以上早くなった場合は、審判長の判断で時間を調整する）

7 棄権・訂正について

氏名、所属の訂正や棄権の場合はそれぞれプログラム訂正用紙、棄権届に記入し、競技開始1時間前までに招集へ提出すること。参加種目の変更や追加は一切認めない。プログラム訂正用紙、棄権届は受付で配布する。申請書は（一社）日本身体障がい者水泳連盟ホームページからもダウンロードできる。（<http://new.paraswim.jp/>）

8 抗議について（クラス分けに関する抗議は別の定めに従うこと）

競技開始前に判明した事項は出発合図の前に文書で審判長に提出しなければならない。競技終了後の抗議は、レース終了後30分以内に文書によって大会本部へ抗議料10,000円を添えて提出しなければならない。抗議用紙は、大会本部に備え付けている。

* 審判長へ失格理由などを問い合わせることは抗議ではない。

9 表彰

表彰は、競技終了後直ちにプールサイド南側表彰場にて行う。入賞した選手は、表彰者控え場所に待機すること。

10 速報の掲示及び記録証の配布

速報は、2Fに掲示する。記録証配布は2F受付で行う。

11 リレーオーダー等について

各チームの責任者は、リレーオーダー用紙をその種目の開始1時間前までに招集に提出すること。

（ポイント記載や選手の重複出場など間違いのないようにすること）

リレーにおける第一泳者の記録は測定しない。

12 公式練習及びウォーミングアップについて

前日公式練習

11月30日（金） 13:15～16:30（メイン・サブプール利用可、受付は13時から随時行う。）

※クラス分けを実施するレーンは使用できないので、当日の案内に従うこと。

メインプール

12月1日(土) 10:00~11:20(公式スタート練習時間 10時50分~)

12月2日(日) 8:40~9:50(公式スタート練習時間 9時10分~)

※公式スタート練習時間は、当日の状況により変更になる場合があるので、当日の案内に従うこと。

※メインプールの水深は2.6mのため、立って水中での待機は出来ない。泳ぎ終わったら水中に留まらず退水すること。

サブプール

12月1日(土) 11:30~競技終了後30分

12月2日(日) 9:30~閉会式終了後30分

※プールの水深は1.3mのため飛び込みは禁止する

1.3 監督者会議について

監督者会議は行わないので、この注意事項を良く読んでおくこと。

質疑がある場合は大会本部総務へ問い合わせること。

1.4 クラス分けについて

ホームページでも案内した通り S/SB/SM1~S10/SB9/SM10 については次のように取り扱う。

2018年1月にWPSの競技規則ならびにクラス分け規則が改定となっている。WPSワールドシリーズなど、国際大会での動向を注視しながら、国内選手に対する対応を検討した結果、今大会において、WPSクラス分け規則(2018.1.1発行)に対応した国内選手のクラス分け評価作業を実施する。

尚、大会において新しいクラスやコード・オブ・エプセプションを決定するため、競技観察等を行う。必要に応じて、フィジカルアセスメント、テクニカルアセスメント(ウォーターテスト)を行うことがある。その際はクラス分け委員の指示に従うこと。

※視覚障がい者、知的障がい者のクラス分けは本大会では行っていない。

1.5 アンチ・ドーピングについて

障がい上、必要な薬物使用であっても、許可を得ていなければドーピング違反行為と見なされる。ドーピング違反となった場合は規定に従って出場停止などの処分があるので注意すること。日本アンチ・ドーピング機構のWEBサイトをよく読んで参加すること(<http://www.playtruejapan.org/>)。

本大会では、日本アンチ・ドーピング機構と連携し、1日(土)に2階にてアンチ・ドーピングに関する情報発信ブースを設置する。このプログラムは簡単なクイズに答えて、アンチ・ドーピングの知識を学ぶものである。「アンチ・ドーピングとは何か」を知ることは、スポーツに関わる上で、とても重要なことである。アスリートの方はもちろん、サポートスタッフ等だれでもご参加できる。尚、クイズに挑戦した場合、プレゼントがある予定。

1.6 トレーナーブースの設置について

トレーナーブースを1F トレーニング室に設置する。

利用者は当日の案内に従って利用すること。

1.7 その他

(1) 選手受付は、2Fで行う。

(2) 本大会では車椅子の貸し出しは行わない。各自対応すること。

(3) 選手の休憩・待機場所は、観客席指定場所とする。ただし車椅子選手は、プールサイド北側及び観客席指定場所とする。

- (4) 弁当申込者（事前のみ）は、引換券を持参して午前 11 時以降に受付に取りに来ること。空き箱は回収するので午後 2 時までに配布場所まで返却のこと。
- (5) 観覧・応援はプール観覧席を利用すること。大会側より許可を受けた者以外の競技エリア内への入場はできない。
- (6) 更衣は、選手専用更衣室を利用すること。家族更衣室はサブプール「男子更衣室」とする。貴重品等は各自で管理すること。紛失などの責任は一切負わない。また、大会 1 日目終了後は必ず荷物はロッカーに入れたままにせず持ち帰ること。（*ロッカーは施錠できないので貴重品はいれないこと）
- (7) 大会期間中における事故または傷病については、応急処置のみとする。その他の責任は負わないので、体調などは各自自己管理すること。
- (8) 競技の撮影について
- ①メディア以外の撮影は、観覧席に限る。
 - ②撮影は携帯カメラレベルとし、フラッシュを利用したの撮影等、競技の妨げになるような撮影はしないこと。
 - ③赤外線フィルター・赤外線装置を使つての撮影は禁止する。
 - ④不審な撮影行為は、係員が事情聴取をする場合がある。内容によっては、所轄警察署に通報する。不審な撮影行為を見かけたら、係員に連絡すること。
 - ⑤個人情報保護・迷惑防止条例等に抵触しないように十分注意をすること。
 - ⑥撮影した写真・動画については、ご家庭・チーム内で鑑賞することにとどめ、許可を得ていない自分以外の人が写りこむ写真や当連盟協賛企業の広告以外の広告物が写りこむ写真のインターネット（SNS等）へのアップロードは禁止する。また、動画のアップロードは禁止する。
- (9) 大会要綱にも記載したように、本大会では、ユーチューブで競技状況の映像などを配信するので、多くの人にも見られています。選手としての自覚をもって行動をするなど、その旨心得ること。
- (10) 個人情報の取り扱いについて
本大会のプログラム記載事項、記録などは連盟ホームページで公開する予定である。その他、連盟の個人情報取り扱い方針に基づいて行われる。
- (11) ゴミはすべて持ち帰ること。
- (12) 駐車場は、第 4 駐車場を利用すること。
- (13) 送迎バスは、マイクロバスは第 1 駐車場、大型バスは第 2 駐車場の予定。
- (14) プールサイドは土足禁止です。上履きか素足で入ること。観客席からプールサイドに入る際に履き替えた靴は自分で管理すること。脱いだまま放置しないようにすることなど遵守して下さい。